

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年10月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰						
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
犬・猫用 (バイトリル2.5%注射液) バイエルメディカル株 製造番号：不明	猫雑種	雄	5歳	不健康 呼吸器感染症	不明	不明	5mg/kg 皮下注射(適用外使用)	平成17年 10月17日	インターキャット：2単位	平成17年 10月17日	斃死，振せん，興奮，嘔吐，下痢 投与直後より振せん等の神経症状の発現を認め た。投与2時間後に下痢及び嘔吐を認めた。投与4時間後に死亡を確認。	プレドニゾン 0.31ml デキサメタゾン 0.31ml	死亡
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：今回の症例に関しては，エンロフロキサシンによるものではなく併用投与したインターフェロンによるものと考えている。 ・企業：今回の症例ではアナフィラキシー様の症状の発現が投薬直後から認められており，投薬された薬剤との因果関係が示唆されるものの，死亡に至るまで症状が悪化した要因については明確ではなく，また剖検等も実施できなかったことから詳細は不明であり，生体側に何らかの原因が存在した可能性も否定できない。 ・対応：インターフェロンとの併用投与においてこのような重篤な症状に発展したことにに関して本剤との因果関係を含め，引き続き同様の症例の発生について調査を続けていく所存である。 													